



はらっぱだより



令和 7 年 8 月 4 日 発行

8 月に入り気温もぐんと上がり、いよいよ夏本番です。夏休みも始まりました。朝から元気いっぱいな子ども達。暑さに負けず、元気いっぱい、活動に取り組んでいます。熱中症には十分注意をしながら、水分補給や休憩、塩分チャージを補給して活動に取り組んでいます。夏の暑さに負けないよう、規則正しい生活を送りましょう。

活動の様子

・祭りごっこ



「夏祭りをしたい!」という声があり、お祭りを開催しました。お祭りといえはなんだろう?と皆からも意見を聞いたところ、「焼きそば!」と、いうことで買い物からみんなでしました。

限られた予算の中で、何が必要か検討しました。紅ショウガやマヨネーズ等、焼きそばと言えはこれ!というものがたくさんあります。買い物は手分けして必要な食材などを揃え、いざ調理

開始。

玉ねぎは涙が出るから・・・と遠慮されがちです。そういう時には年上の子が切ってくれます。それぞれできることを分担しながら協力して。完成すると室内

内で食べる子、水遊び後で庭のベンチで食べる子とそれぞれ好きな場所で食べました。

夏祭りは焼きそばだけではなくありません。水ヨーヨー、射的、かき氷、綿あめ…屋台に出てくるような食べ物やゲームが勢ぞろい。みんな目を輝かしていました。あっという間の時間、最後まで楽しめました。



・縄文の森

縄文の森では、まが玉作りをしました。四角い石に好きな形を鉛筆でかたどります。その後の手順は…

- ① 紙ヤスリで大まかな形に削る
- ② 細かい部分を削り、形を整える
- ③ 水で濡らしながら、まが玉の表面がツヤツヤになるように磨く

一見単純な作業ですが、根気が必要です。限られた時間の中で、どの子も集中して作業に取り組み、完成させていました。紙やすりは持って帰ってよかったので、はらっぱに帰ってから、家に帰ってから削り続けた子も。中にはお家の人に手伝ってもらってツルツルピカピカなまが玉に仕上げていた子もいました。翌日、まが玉に紐をつけて首にかけたり、水筒やリュックに着けたりとみんな嬉しそうでした。



昼食後は縄文の森にある木製の遊具で遊びました。丸太のシーソーやクライミングの遊具など珍しい遊具もあります。大人でも難しいようなアスレチックですが、体を上手に使って見事にクリアしていました。公園内には小川も流れたり、珍しいトンボもいたり自然豊かな環境です。

夏休みはあっという間に終わってしまいます。「あと 26 日で夏休みが終わる〜…」とうなだれる子も。夏休み、1 日も無駄には出来ませんね。